

宮崎県口蹄疫の感染経路の究明は「至難の業」か

農林水産省消費・安全局は八月二十四日、午後一時より、同省第一特別会議室において、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会第十五回牛豚等疾病小委員会と口蹄疫疫学調査チームの第五回検討会の合同会議を開催した。

同合同会議は、①宮崎県における口蹄疫の発生概要及び防疫措置について、②口蹄疫の疫学調査に係る中間的整理について、③その他が議題として行われた。

その中で、口蹄疫の感染経路の究明については、発生から日々が経過しているため、難しいとされた。しかし、口蹄疫のウイルスは日本には元々いなかったわけであるから、ウイルスは海外から侵入したと見ても差し支えないとみられる。率直に言って、感染経路の究明については、「至難の業」とみていた。

これに関しては、例えば、BSEの感染経路とは大きく異なる。BSEの場合は、肉骨粉が原因という物質的な証拠があった。これに対して口蹄疫の場合は、ウイルスだけに物質的な証拠はない。このことが口蹄疫の感染経路の究明をより困難にしている一要因とみられる。

T O K Y O O - X 十月十日の東京都食育フェアに出展

T O K Y O O - X アソシエーションは、東京都が平成二十二年十月十日に、代々木公園ケヤキ並木通り&オリピックプラザにおいて開催する、第四回東京都食育フェアに出展する。

東京都が開催する第四回東京都食育フェアの目的は、フェアを通して都民と食育活動団体との交流や連携を促進し、東京都の食育活動の充実と「東京都食育推進計画」の着実な推進を目指すためとされた。

T O K Y O O - X が東京都食育フェアへ出展する目的は、「食育を接点にしたアニマルウェルフェアの普及活動」とされ、当日は種々イベントが行われる。これについては、午前十一時より、特設ステージにおいて、①ブロック内からの小売り用スライスパック作りとT O K Y O O - X の肉質の特徴の説明。②パワーポイントによるT O K Y O O - X 実践のアニマルウェルフェアの説明。③講演聴衆者への試食が行われる。続いて、十二時より展示ブースにおいて、引き続き試食が行われる。